

平成10年代

20世紀最後の冬季オリンピックが長野で開催されたり、日韓共催でサッカーワールドカップが開催されたりと、スポーツに賑わった年代。世界では、欧州単一通貨「ユーロ」が流通を開始し、日本では、一万円札、五千円札、千円札の新札が発行された。平成14年度から完全学校週5日制が導入され、平成19年には、全国学力・学習状況調査が開始された(43年ぶり)。

児童生徒数の移り変わり

	小学校	中学校
平成10年	81,230	45,767
平成12年	76,760	43,326
平成14年	73,202	40,972
平成16年	70,373	38,346
平成18年	67,816	36,555

山形県教育関係者名簿より



いつの時代も一生懸命です



感動的な卒業式



親子サイクリング教室



親子行事でプール掃除



情報交換の場として刊行された『教育フロンティア』

昭和61年(1986)教育や文化等についての話題提供の場として、また、先生方と弊社をつなぐ目的で、小誌を発行することになりました。県教育研究会造形部会の先生方から表紙を飾っていただき、平成8年(1996)までA5版、40ページの季刊誌として発行しました。翌年からはB5版に拡大し、カラーページを多くしながら、表紙では「学校美術館」と銘打って、各学校にある著名な美術品と校長室の紹介を続けました。内容面では、「わが校のじまん」を設け、各校から玉稿を寄せていただきながら、各学校の特色ある教育活動を紹介しました。平成20年(2008)からは今の様式で、学校からのお力添えをいただきながら、「いのち輝く山形県のこども」の姿を中心に据えて、発行を継続しています。今後ともご協力とご愛読をお願いいたします。